

大牟田駅前のにぎわいをつくる「古くて新しい」路面電車 204 号

吉中美保子 西日本鉄道株式会社天神開発本部天神みらい戦略部・部長

1. 大牟田駅の概要

大牟田駅は、福岡県南部と熊本県北部で構成される大牟田・荒尾都市圏の中心駅で、福岡最南端に位置する九州旅客鉄道（JR九州）と西日本鉄道（西鉄）の駅である。JR九州の改札口がある駅東側は、官公庁や店舗等があり地元では表駅と呼ばれるのに対し、JR九州と西鉄の改札口がある駅西側は裏駅と呼ばれ、鉄道の乗降客数は多いものにぎわいに乏しく、まちの玄関口としての魅力向上という課題があった。

2. 路面電車 204 号の移設

大牟田市には、かつて路面電車「大牟田市内線」があり、そこを走った「旧大牟田市内線 204 号（通称 204 号）^{注1)}」が有志の手により、大牟田市内で保存されていた。204 号は、廃車後、山口県光市で図書室として利用されていたが、老朽化に伴い解体間際だったところを、地元有志で結成された「204 号の会」に引き取られて修復され、2012 年より市内飲食店の敷地内で公開されていた。

2018 年西鉄が観光列車「THE RAIL KITCHEN CHIKUGO (TRKC)^{注2)}」の企画・開発を進める中で、電車の発着駅となる大牟田の観光活性化について、大牟田市、大牟田商工会議所、たーんとよかこ協議会（協議会）^{注3)}と協議を行い、駅西口のにぎわいづくりが必要であることが課題として共有された。にぎわいづくりの装置として 204 号の活用が浮上し、2018 年 8 月、大牟田経済倶楽部^{注4)}が駅西口広場の機能充実等を提言。12 月には「204 号の会」の申し出を受け、市が 204 号を譲り受けることとなった。車体は老朽化が進み、痛みが激しい状態だったため、西鉄テクノサービス(株)（現西鉄エンジニアリング(株)）にて 3 か月に及ぶ改修作業を行い、駅前広場の区域の都市計画変更を行ったうえで、西口駅前広場へと移された（写真 1）。移設・改修費用（総額 1,080 万円）は、関係者の寄付によりまかなわれた。

3. にぎわい創出のための実験的取り組み

204 号の移設とあわせてにぎわいを創出するため、マルシェの企画・実施等を行う実行委員会が、大牟田市、商工会議所、協議会、西鉄で組織された。2019 年 3 月 23 日

TRKC の運行開始とあわせ、204 号のお披露目式典とマルシェが実施された（写真 2,3）。「旅するヴィンテージ」と題したマルシェは、産業のまち大牟田をイメージして、アンティーク風雑貨やクラフト作品を扱う店舗などが出店、その後不定期で継続実施された。3 月から 11 月までで計 9 日開催し、延べ 38 店舗が出店、多くの利用者でにぎわった。出店者交渉は主に協議会のおもてなし部会が、会場の準備や運営などは市や商工会議所を含む地元メンバーが行った。

4. 恒常的ににぎわい創出に向けて

閑散としていた西口駅前広場は、204 号の移設により、少しずつ変化が生じている。204 号を見に来る鉄道ファン、204 号の周囲を走り回って遊ぶ子供、広場のベンチに座って休む人など、今では時折、移設前には見られなかった光景を見ることが出来る。また、マルシェ実施時のようににぎわいを恒常的に生み出すため、2019 年 12 月、市は 204 号とその周辺を覆う屋根の整備、204 号を店舗として使用するための内部改修工事を実施することを決定し、デザインと運営者募集のプロポーザルが行われた^{注5)}（図 1）。「古くて新しい」をコンセプトに、大牟田の歴史や地域資源を活かしながら、今の時代にあわせた新しい大牟田の魅力をつくり発信することを目指している。

通勤や通学などの移動拠点として利用されていた大牟田駅西口は、「観光列車の発着駅」で「204 号がある場所」となった。まちを訪れる人の玄関口として、また住む人が集い誇れる場所として、今後、場の価値を高めていくような活用が期待される。

注 1) 204 号は 1952 年まで大牟田市内線で活躍。その後、福岡線、福岡市内線に転籍し、1975 年の福岡市内線一部廃止時に廃車となった。

注 2) 沿線の地域資源を活用した車内で食事が楽しめる列車。

注 3) 2016 年に公共交通事業者を含む市内関係 14 団体で設立した組織で観光商品の創造、情報発信などを目的として活動。

注 4) 市内の主要企業が加盟する任意の経済団体。

注 5) 大牟田市によって 2020 年 2 月に「路面電車 204 号屋根及び車内デザイン・実施設計業務」9 月に「路面電車 204 号車内店舗運営業務委託」の企画プロポーザルが実施された。



写真 1 204 号が設置された西口駅前広場
画像提供:沿線から、縁がつながる「HelloCal」



写真 2,3 駅前で行われたマルシェの様子



図 1 今後の整備イメージ